

# 池之久保 の正月行事

# 上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課  
上西集落支援員  
馬場 信一 編集  
連絡先090-9579-3953  
上西校区長責任発行

みなさん、正月の準備は進んでいますか？

今回は昭和56年～平成8年にかけて行われた調査（鹿児島大学比較民俗学研究室；下野敏見 他）の報告書（『西之表市の民俗・民具』第1集）をもとに、池之久保の昔の正月行事を紹介します。今はもう行われなくなった行事も多いかと思えます。昔を思い出しながら、ご覧ください。

## 準備

### 餅つき

12/30ごろに餅をつく。「9」は「苦  
労」「苦しみ」につながるため29日は避ける。ついた餅は仏壇、床の間、火の神、井戸、農具（農機具）に供える。



三十一日の晩のことをトシリノバンという。



### 門木を立てる

竹、マテの木を縄で巻いて束ねる。

右が種子島伝統の門木。  
左は江戸風の門松。



月窓亭の門木

## 元旦

### 水をくむ

ダイダイ、塩、焼酎を井戸の脇に供え、一番鶏が鳴かないうちに水をくむ。「水を汲まずに、黄金を汲む」といってお金を落とすことがないように、水は少し汲んで運んだ。

このころに臼おこしがある。子ども達が来たときに餅をあげる。



## 四日 十一日



### 鍬入れ

四日は畑の鍬入れ、十一日は田の鍬入れ。ユズリハとモロバにつつんだ餅を鍬と一緒に持って行く。南を向き、二かきして焼酎と塩をかけたあと「今日から鍬入れをします」と言う。餅は大切に持ち帰る。

## 十四日



### コノミヤジョウ

大きな餅を小さく切ってコヤスギの枝に刺す。それを火の神、大黒様、床の間、仏様、門口に二本ずつ刺す。もともとは繭の豊作祝いだった。ホダレヒキ(=第29号参照)もこの日にする。

## 十五日

### 作祝い

集落の人々が公民館に集まり、祈祷とお祓いをしてもらう。

上西インスタグラム  
～新・コンテンツ～  
上西小持久走大会



## 二十日ごろ

### しめ縄をはずす

三日ごろ、一度片方はずす。そして十五日にまたしっかりはめる。二十日ごろに焼酎をかけてからはずす。農家の祝いである作祝いが十五日に行われることと関係している。



上西小学校でのしめ縄づくり